

平成26年度上期の
生乳及び牛乳乳製品の需給見通しと
当面する課題について

平成26年5月27日
一般社団法人Jミルク

1. 地域別生乳生産量の動向

【生乳生産量予測の前提】

・北海道及び都府県の予測値は、平成 26 年 3 月までの生乳生産量データに基づき、気温や乳牛頭数等を説明変数とした予測モデル (ARIMA モデル) による推計値を基本に算出。なお、平成 26 年度の気温は、平年並で設定。

表 1-1：平成 25 年度の地域別生乳生産量（実績）（千トン）

	全 国		北海道		都府県	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
4 月	650	100.1%	329	101.0%	322	99.3%
5 月	671	100.0%	343	101.0%	328	98.9%
6 月	638	99.4%	333	100.5%	305	98.3%
7 月	632	98.1%	333	98.5%	299	97.7%
8 月	608	96.5%	321	96.3%	286	96.7%
9 月	593	98.2%	311	97.7%	282	98.8%
10 月	608	97.0%	316	96.2%	292	97.7%
11 月	588	97.2%	303	96.7%	285	97.8%
12 月	616	97.6%	319	97.3%	297	97.9%
1 月	626	97.2%	322	96.9%	304	97.6%
2 月	573	96.3%	293	95.9%	279	96.7%
3 月	643	96.8%	326	96.6%	317	96.9%
第 1 四半期	1,960	99.8%	1,004	100.8%	955	98.8%
第 2 四半期	1,833	97.6%	965	97.5%	868	97.7%
第 3 四半期	1,813	97.3%	939	96.8%	874	97.8%
第 4 四半期	1,842	96.8%	941	96.5%	901	97.1%
上期	3,792	98.7%	1,969	99.2%	1,823	98.3%
下期	3,655	97.0%	1,880	96.6%	1,775	97.4%
年度計	7,447	97.9%	3,849	97.9%	3,598	97.9%

表 1-2：平成 26 年度上期の地域別生乳生産量（見通し）（千トン）

	全 国		北海道		都府県	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
4 月	629	96.8%	318	96.7%	311	96.8%
5 月	650	96.9%	332	96.9%	318	96.9%
6 月	621	97.3%	325	97.7%	296	96.9%
7 月	619	97.9%	329	99.0%	289	96.7%
8 月	601	98.9%	321	100.1%	279	97.6%
9 月	581	97.9%	309	99.4%	272	96.3%
第 1 四半期	1,900	97.0%	975	97.1%	925	96.9%
第 2 四半期	1,800	98.2%	960	99.5%	841	96.8%
上期	3,701	97.6%	1,935	98.3%	1,766	96.8%

【生乳生産量の見通し】

26 年度上期において、北海道では第 1 四半期は前年度を下回り、第 2 四半期についても前年並みもしくはやや下回って推移するものと見込まれる。また、都府県においても前年度を下回って推移するものと見込まれる。その結果、全国では、第 1 四半期は前年比 97.0%、第 2 四半期は同 98.2%と見込まれる。

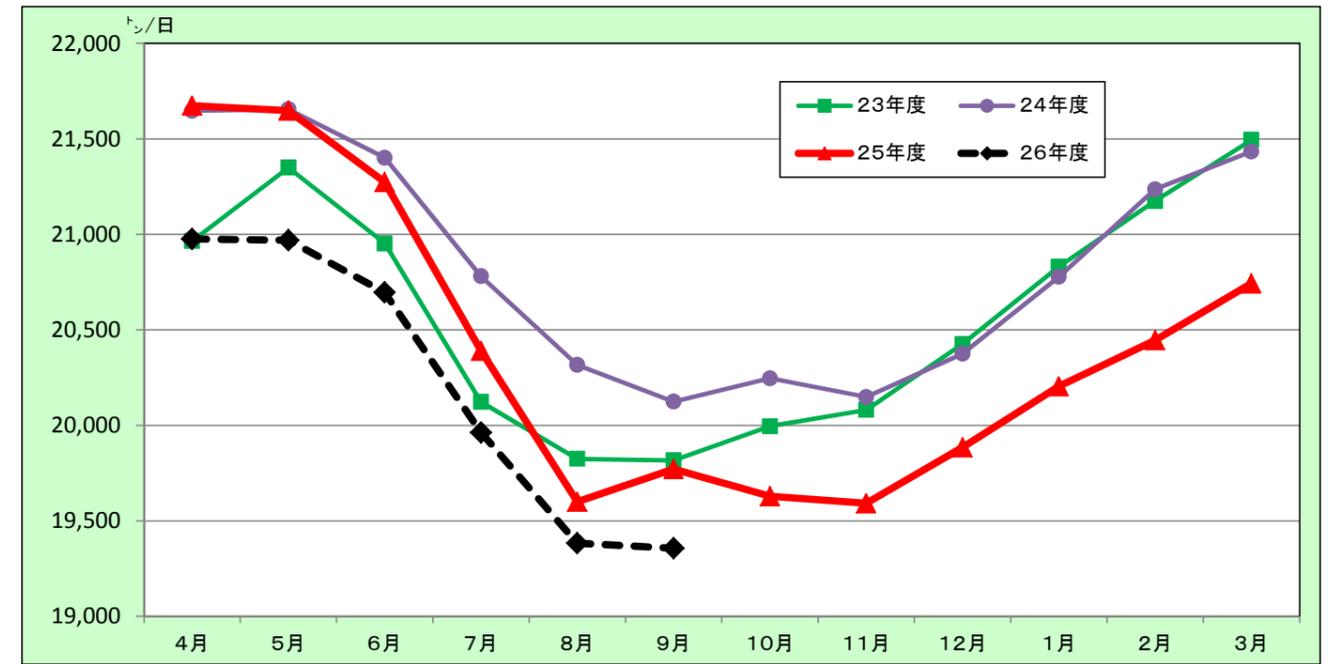
1 月公表時に比べ下振れしており、予測の差異（上期計）は以下の通り。

「全 国」：▲24 千 t（前年比▲0.6 ポイント）

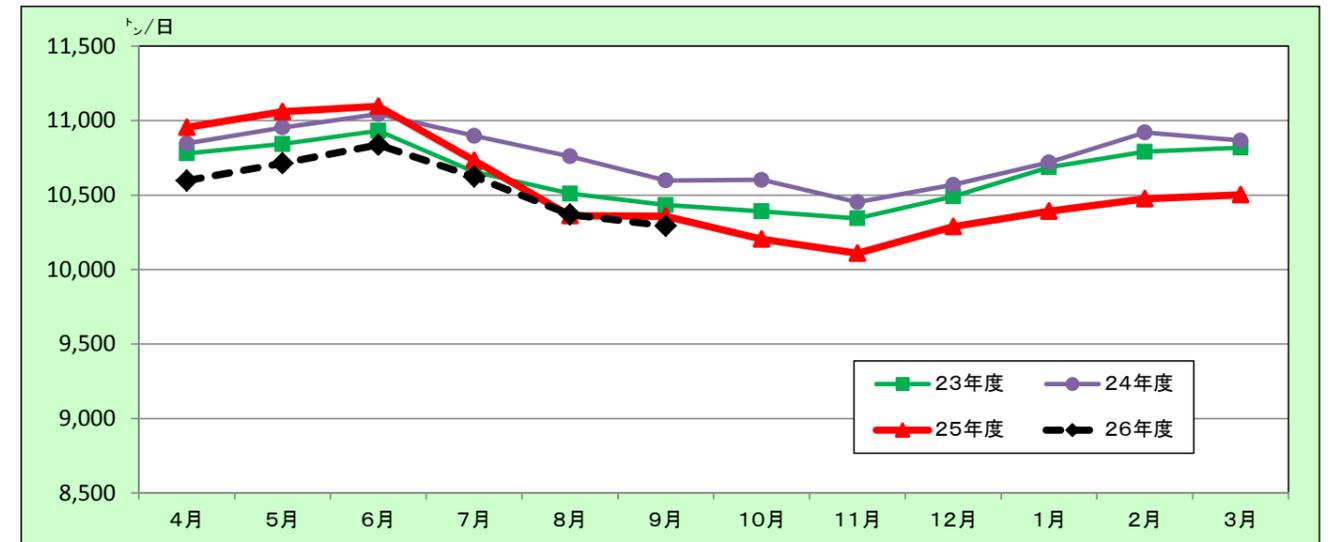
「北海道」：▲12 千 t（前年比▲0.6 ポイント）

「都府県」：▲13 千 t（前年比▲0.7 ポイント）

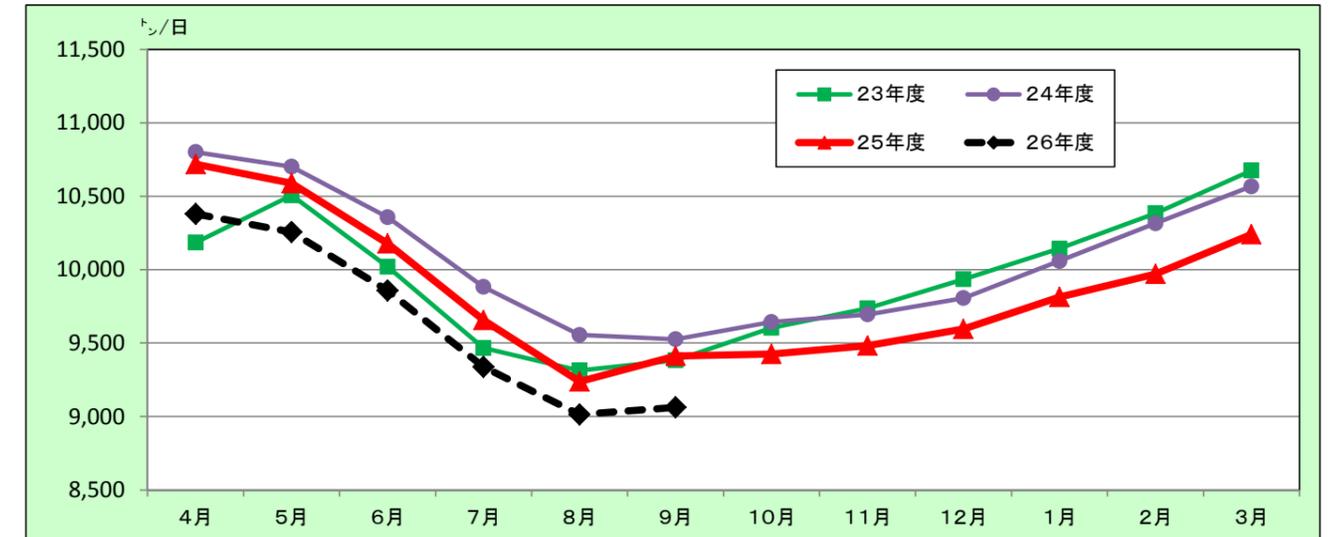
グラフ 1-1：全国の生産量（日均量）



グラフ 1-2：北海道の生産量（日均量）



グラフ 1-3：都府県の生産量（日均量）



2. 牛乳等生産量の動向

【牛乳等生産量予測の前提】

・各々の予測値は、平成26年3月までの生産量データに基づき、気温や平日日数等を説明変数とした予測モデル（ARIMAモデル）による推計値を基本に算出。なお、平成26年度の気温は、平年並で設定。

表2-1：平成25年度の牛乳等生産量（実績）

	牛乳類		牛乳		加工乳		成分調整牛乳		乳飲料		はっ酵乳	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	
4月	393	99.3%	246	99.4%	11	82.9%	28	91.9%	109	103.4%	90	106.3%
5月	424	100.1%	265	100.2%	11	78.8%	29	92.0%	119	104.7%	91	102.3%
6月	422	99.8%	262	99.5%	10	87.4%	29	94.3%	120	103.0%	87	101.5%
7月	435	100.3%	263	100.2%	10	89.5%	31	93.8%	130	103.3%	88	101.2%
8月	417	99.4%	244	99.9%	10	90.0%	32	94.4%	131	100.5%	84	101.8%
9月	438	98.9%	273	99.3%	10	90.8%	30	93.5%	125	100.2%	84	100.2%
10月	439	98.8%	272	99.0%	11	90.1%	31	100.7%	125	98.6%	84	101.1%
11月	396	99.3%	251	98.2%	11	96.7%	28	101.1%	105	101.9%	78	102.0%
12月	379	99.4%	239	97.6%	12	98.6%	27	100.7%	101	103.5%	74	102.3%
1月	377	98.8%	239	98.1%	11	97.5%	28	99.8%	100	100.5%	79	101.1%
2月	363	100.7%	233	100.6%	10	95.7%	26	103.4%	94	100.7%	79	104.3%
3月	385	99.1%	239	99.5%	11	98.9%	28	98.6%	107	98.5%	88	98.1%
第1四半期	1,239	99.7%	773	99.7%	31	82.8%	86	92.8%	348	103.7%	268	103.3%
第2四半期	1,291	99.6%	780	99.8%	31	90.1%	93	93.9%	386	101.3%	256	101.1%
第3四半期	1,214	99.1%	762	98.3%	34	95.1%	86	100.8%	331	101.1%	236	101.8%
第4四半期	1,124	99.5%	711	99.4%	31	97.5%	82	100.5%	300	99.8%	246	101.0%
上期	2,530	99.6%	1,553	99.8%	63	86.3%	180	93.3%	735	102.5%	524	102.2%
下期	2,338	99.3%	1,473	98.8%	65	96.2%	168	100.7%	631	100.5%	481	101.4%
年度計	4,868	99.5%	3,026	99.3%	128	91.1%	348	96.8%	1,366	101.5%	1,006	101.8%

表2-2：平成26年度上期の牛乳等生産量（見通し）

	牛乳類		牛乳		加工乳		成分調整牛乳		乳飲料		はっ酵乳	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	
4月	389	99.0%	243	98.8%	11	99.3%	27	97.2%	109	99.9%	88	98.1%
5月	418	98.7%	262	98.7%	11	105.2%	28	95.7%	118	98.8%	91	100.6%
6月	419	99.5%	261	99.4%	11	109.6%	28	97.4%	120	99.4%	90	103.2%
7月	428	98.4%	259	98.2%	11	109.8%	30	95.2%	129	98.7%	91	103.4%
8月	413	99.0%	239	97.7%	12	111.9%	31	98.2%	132	100.6%	86	101.9%
9月	439	100.2%	271	99.4%	11	108.8%	29	97.0%	127	101.9%	87	103.3%
第1四半期	1,227	99.1%	765	99.0%	33	104.5%	84	96.8%	346	99.3%	270	100.6%
第2四半期	1,280	99.2%	768	98.5%	34	110.2%	90	96.8%	388	100.4%	263	102.9%
上期	2,508	99.1%	1,533	98.7%	67	107.3%	174	96.8%	734	99.9%	533	101.7%

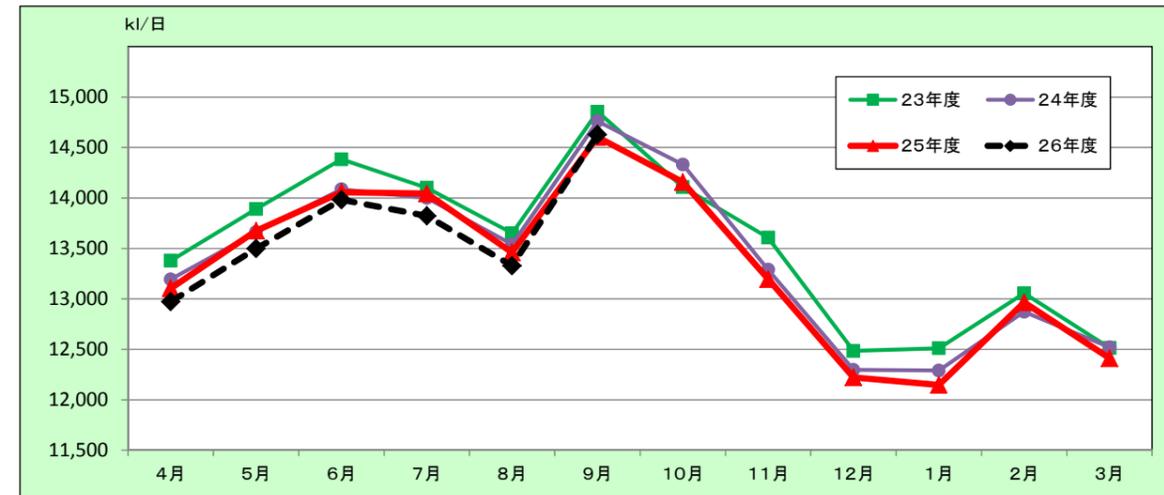
【牛乳等生産量の見通し】

26年度上期は、「牛乳」は前年度をやや下回る程度で推移、「乳飲料」は前年度上期に伸長した反動はあるものの比較的堅調に推移するものと見込まれる。「はっ酵乳」は今後も前年度を上回って好調に推移するものと見込まれる。

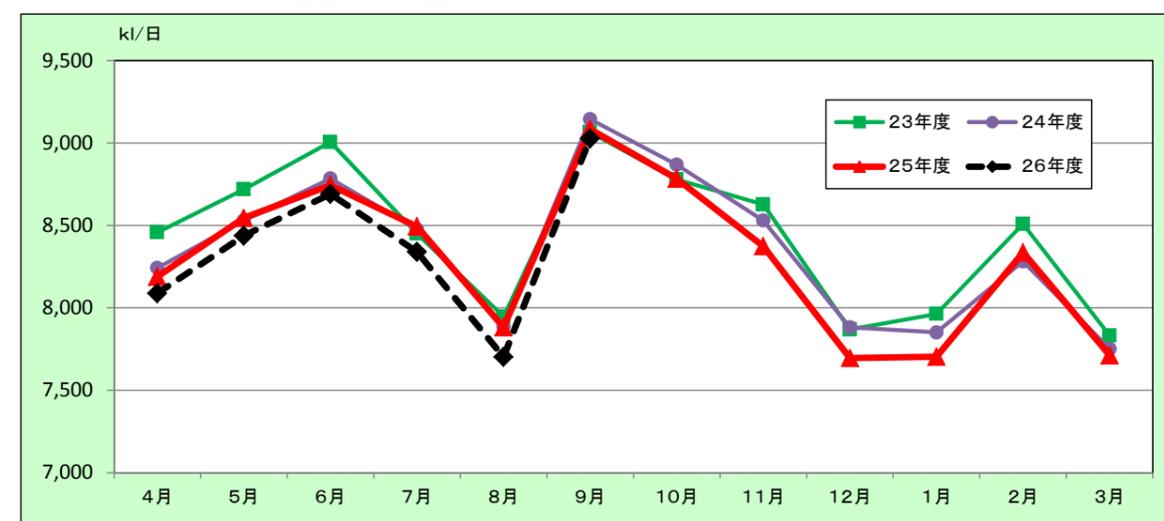
なお、前回1月公表時の予測との差異（上期計）は以下の通り。

「牛乳類」：+6千k1（前年比+0.3ポイント） 「牛乳」：+11千k1（前年比+0.7ポイント）
 「加工乳」：+0.2千k1（前年比+0.4ポイント） 「成分調整牛乳」：▲10千k1（▲5.8ポイント）
 「乳飲料」：+5千k1（前年比+0.7ポイント） 「はっ酵乳」：+2千k1（+0.4ポイント）

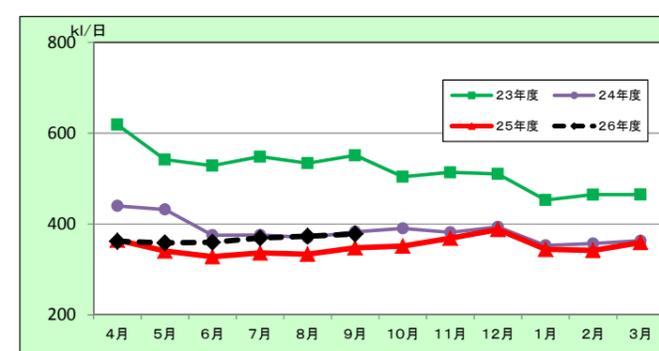
グラフ2-1：牛乳類（牛乳・加工乳・成分調整牛乳・乳飲料）の生産量（日均量）



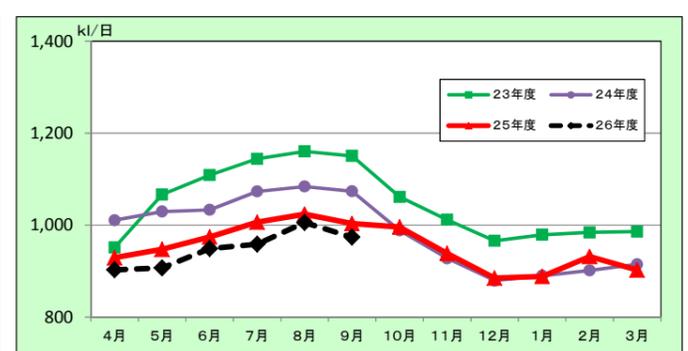
グラフ2-2：牛乳の生産量（日均量）



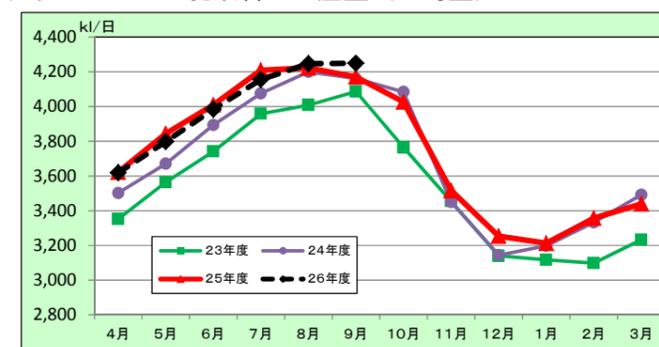
グラフ2-3：加工乳の生産量（日均量）



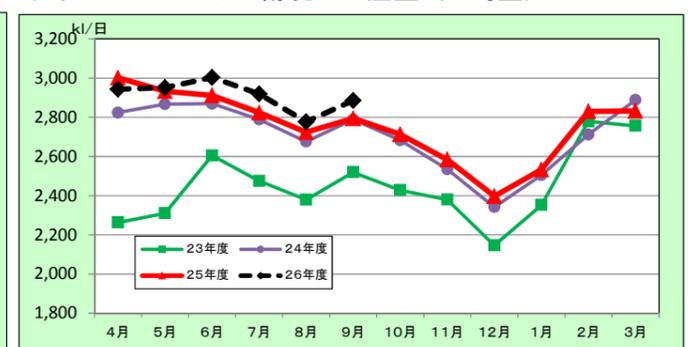
グラフ2-4：成分調整牛乳の生産量（日均量）



グラフ2-5：乳飲料の生産量（日均量）



グラフ2-6：はっ酵乳の生産量（日均量）



3. 用途別処理量の動向

【用途別処理量予測の前提】

- ・生乳供給量は、生乳生産量から自家消費量を差し引いて算出(自家消費量は、各地域の直近までの動向を踏まえ設定)。
- ・牛乳等向処理量は、牛乳、加工乳、成分調整牛乳、乳飲料、はっ酵乳の予測生産量を基に、生乳使用係数を乗じ算出。
- ・乳製品向処理量は、生乳供給量と牛乳等向処理量の差。

表3-1：平成25年度の生乳供給量及び用途別処理量（実績）

	生乳生産量		自家消費量		生乳供給量		牛乳等向		乳製品向	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	
4月	650	100.1%	5	98.0%	645	100.1%	324	98.9%	321	101.4%
5月	671	100.0%	5	97.8%	666	100.0%	346	98.8%	320	101.3%
6月	638	99.4%	5	95.2%	633	99.4%	346	98.6%	287	100.4%
7月	632	98.1%	5	97.7%	627	98.1%	350	100.4%	278	95.4%
8月	608	96.5%	5	94.9%	603	96.5%	329	99.0%	274	93.6%
9月	593	98.2%	5	97.6%	588	98.2%	354	97.9%	235	98.8%
10月	608	97.0%	5	99.2%	604	96.9%	350	98.3%	253	95.2%
11月	588	97.2%	5	97.3%	583	97.2%	326	99.0%	257	95.1%
12月	616	97.6%	5	94.7%	612	97.6%	307	98.5%	304	96.7%
1月	626	97.2%	5	92.7%	622	97.3%	314	97.9%	308	96.6%
2月	573	96.3%	5	99.8%	568	96.3%	303	100.5%	265	91.8%
3月	643	96.8%	5	99.8%	638	96.8%	316	98.5%	322	95.1%
第1四半期	1,960	99.8%	14	97.0%	1,945	99.9%	1,017	98.8%	928	101.1%
第2四半期	1,833	97.6%	14	96.7%	1,819	97.6%	1,032	99.1%	787	95.7%
第3四半期	1,813	97.3%	14	97.1%	1,798	97.3%	983	98.6%	815	95.7%
第4四半期	1,842	96.8%	14	97.4%	1,828	96.8%	932	98.9%	895	94.6%
上期	3,792	98.7%	28	96.9%	3,764	98.8%	2,049	98.9%	1,715	98.6%
下期	3,655	97.0%	29	97.2%	3,626	97.0%	1,916	98.8%	1,710	95.1%
年度計	7,447	97.9%	57	97.0%	7,390	97.9%	3,965	98.9%	3,425	96.8%

表3-2：平成26年度上期の生乳供給量及び用途別処理量（見通し）

	生乳生産量		自家消費量		生乳供給量		牛乳等向		乳製品向	
	前年比									
4月	629	96.8%	5	96.8%	625	96.8%	320	98.7%	305	94.9%
5月	650	96.9%	5	96.8%	645	96.9%	341	98.6%	304	95.0%
6月	621	97.3%	5	97.3%	616	97.3%	345	99.5%	272	94.7%
7月	619	97.9%	5	97.9%	614	97.9%	344	98.3%	271	97.4%
8月	601	98.9%	5	98.8%	596	98.9%	323	98.3%	273	99.6%
9月	581	97.9%	5	97.8%	576	97.9%	352	99.5%	224	95.4%
第1四半期	1,900	97.0%	14	97.0%	1,886	97.0%	1,006	98.9%	880	94.8%
第2四半期	1,800	98.2%	14	98.1%	1,787	98.2%	1,019	98.7%	768	97.6%
上期	3,701	97.6%	28	97.5%	3,673	97.6%	2,025	98.8%	1,648	96.1%

【用途別処理量の見通し】

26年度上期の用途別処理量は、「牛乳等向処理量」が前年度をやや下回って推移する中で、生乳供給量がより大きな減少傾向にあることから、「乳製品向処理量」についても前年度を下回って推移するものと見込まれる。

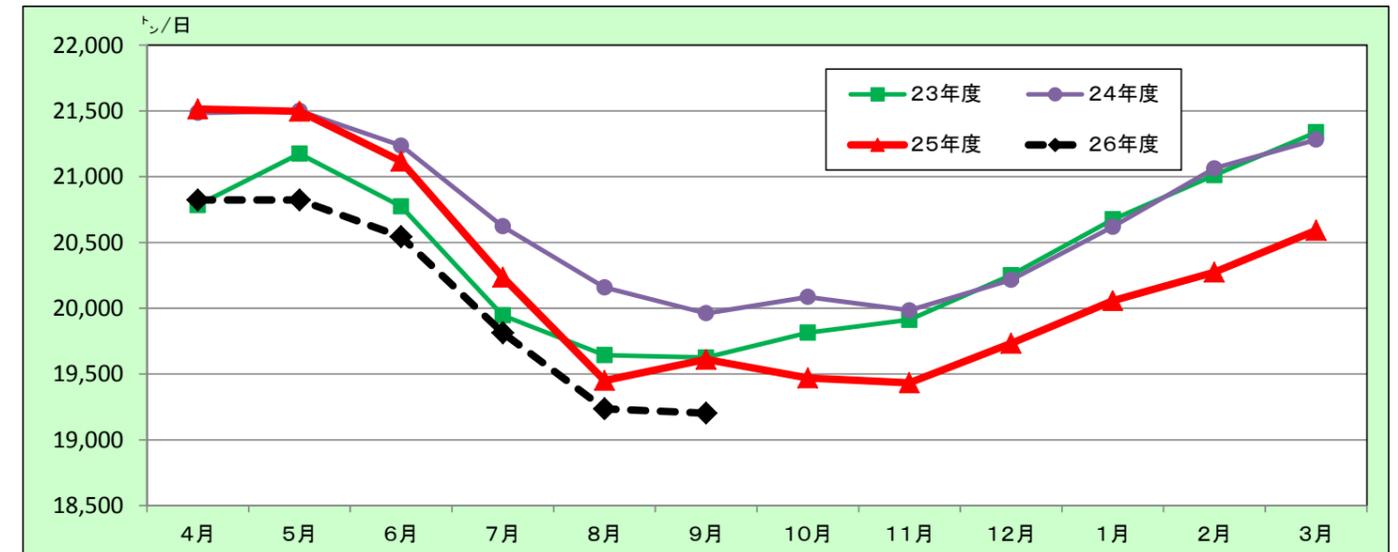
なお、前回1月公表時の予測との差異（上期計）は以下の通り。

「生乳供給量」：▲24千t（▲0.6ポイント）

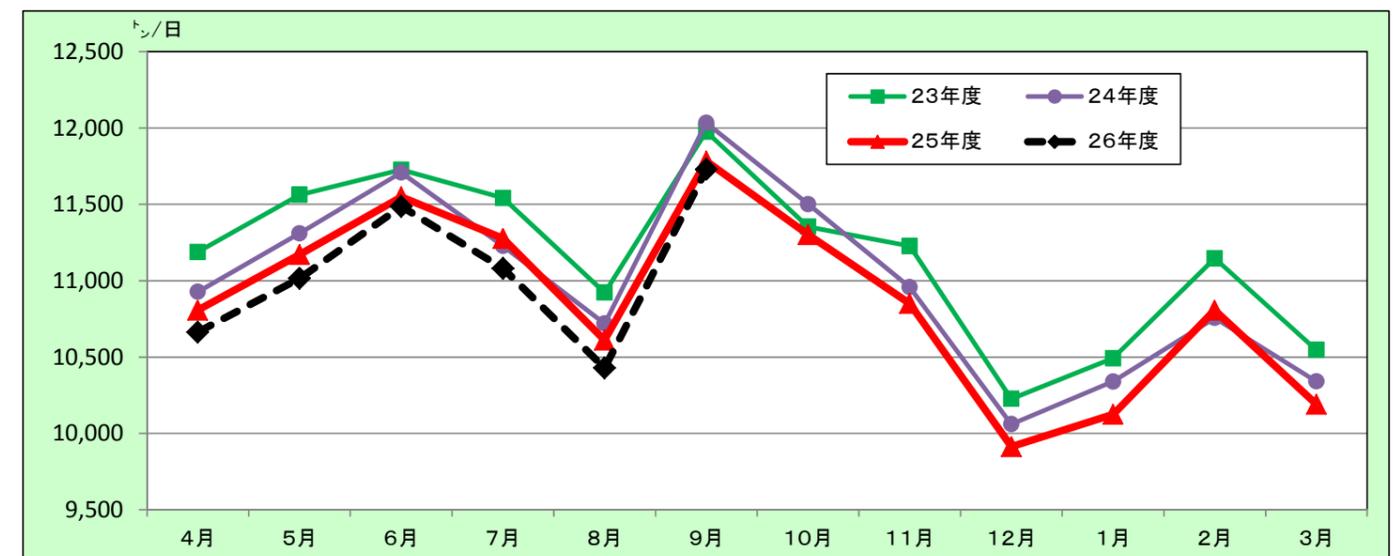
「牛乳等向処理量」：+2千t（+0.1ポイント）

「乳製品向処理量」：▲27千t（▲1.6ポイント）

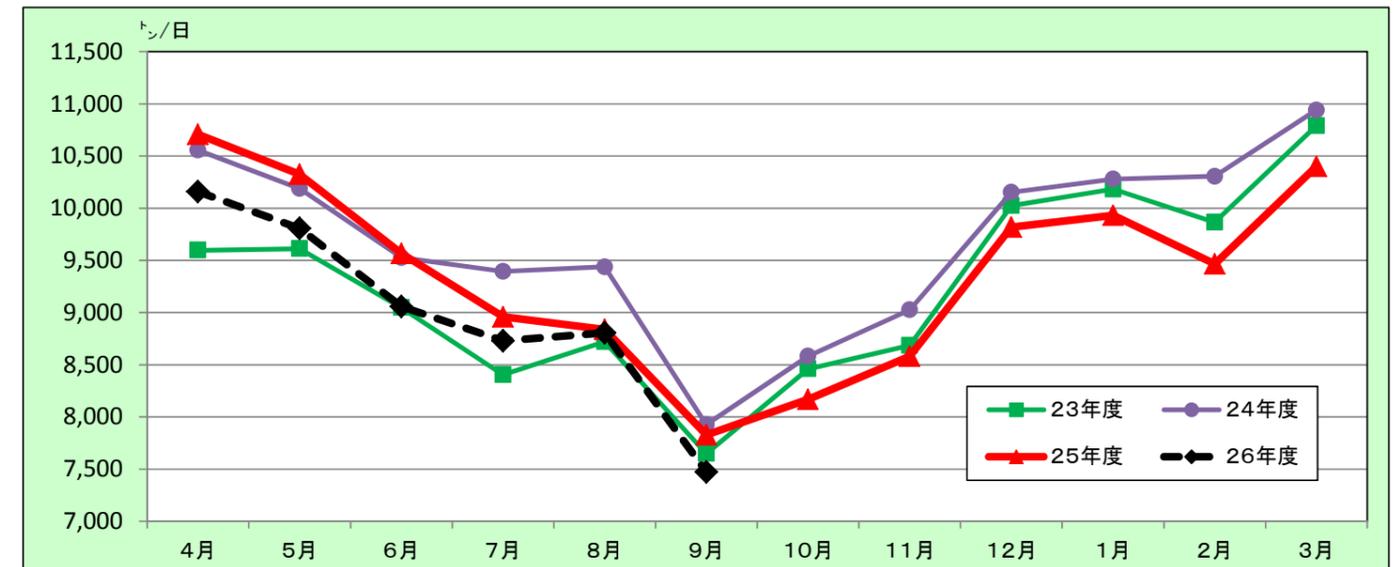
グラフ3-1：生乳供給量（日均量）



グラフ3-2：牛乳等向生乳処理量（日均量）



グラフ3-3：乳製品等向生乳処理量（日均量）



4. 都府県の生乳需給の動向

【都府県生乳需給予測の前提】

- ・「移入量(道外移出量)」は、都府県不足量の補完と、北海道ブランド牛乳製造のための必要乳量等を基本に算出。
- ・「特定乳製品(脱脂粉乳・バター等)向処理量」は、「過不足(A-B-C)」+「移入量」-「移出量」で算出し、過去5年間の最低数量や直近の需給状況等を加味して算出。

表4-1: 平成25年度 都府県の生乳需給(実績)

	生乳供給量		牛乳等向処理量		その他乳製品向処理量		過不足 A-B-C	移入量 (道外移出量)		移出量	特定乳製品向処理量	
	A	前年比	B	前年比	C	前年比		前年比	前年比		前年比	
	4月	319	99.3%	281	98.9%	13		85.4%	25		19	94.0%
5月	326	99.0%	302	99.2%	14	95.6%	10	21	96.7%		31	97.6%
6月	303	98.3%	302	99.1%	13	92.4%	-13	29	98.7%		16	90.1%
7月	297	97.7%	303	100.5%	13	85.3%	-19	34	104.7%		15	76.1%
8月	284	96.7%	283	99.2%	14	85.9%	-13	32	103.4%		19	82.2%
9月	280	98.8%	307	98.0%	13	93.3%	-40	48	93.1%		8	106.4%
10月	290	97.7%	304	98.3%	14	91.2%	-29	39	97.4%		10	89.1%
11月	282	97.8%	281	98.7%	15	96.7%	-14	27	99.6%		13	85.1%
12月	295	97.9%	265	98.5%	16	95.5%	14	20	94.9%		34	93.3%
1月	302	97.7%	272	97.6%	14	98.9%	16	19	96.6%	1	35	95.5%
2月	277	96.7%	262	100.1%	12	96.2%	3	20	101.0%	0	22	70.9%
3月	315	96.9%	272	98.4%	15	100.0%	28	17	95.8%		45	88.2%
第1四半期	948	98.8%	885	99.1%	40	91.0%	22	69	96.8%	0	91	99.0%
第2四半期	861	97.7%	893	99.2%	40	88.0%	-72	113	99.2%		42	83.2%
第3四半期	867	97.8%	851	98.5%	45	94.5%	-29	86	97.5%		57	90.6%
第4四半期	894	97.1%	806	98.7%	42	98.5%	46	56	97.8%	1	102	85.9%
上期	1,809	98.3%	1,778	99.1%	80	89.5%	-49	182	98.2%	0	133	93.4%
下期	1,761	97.5%	1,657	98.6%	87	96.4%	18	142	97.6%	1	159	87.5%
年度計	3,570	97.9%	3,435	98.9%	167	92.9%	-31	324	98.0%	1	292	90.1%

表4-2: 平成26年度上期 都府県の生乳需給(見通し)

	生乳供給量		牛乳等向処理量		その他乳製品向処理量		過不足 A-B-C	移入量 (道外移出量)		移出量	特定乳製品向処理量	
	A	前年比	B	前年比	C	前年比		前年比	前年比		前年比	
	4月	309	96.8%	277	98.4%	13		100.0%	19		22	115.0%
5月	316	96.9%	296	98.2%	14	100.0%	6	23	106.5%		28	89.6%
6月	293	96.9%	299	99.0%	13	100.0%	-19	33	114.7%		14	86.1%
7月	287	96.7%	296	97.7%	13	100.0%	-22	34	99.8%		12	80.1%
8月	277	97.6%	277	97.7%	14	100.0%	-13	31	97.5%		18	94.0%
9月	270	96.3%	304	99.0%	13	100.0%	-47	54	114.3%		7	94.0%
第1四半期	918	96.9%	872	98.5%	40	100.0%	6	77	112.3%		83	90.9%
第2四半期	834	96.8%	876	98.1%	40	100.0%	-82	119	105.2%		37	88.9%
上期	1,752	96.8%	1,748	98.3%	80	100.0%	-77	197	107.9%		120	90.3%

【都府県の生乳需給の見通し】

26年度上期においては、都府県における生乳供給量の減少が、牛乳等向処理量の減少を上回って推移すると見込まれることから、北海道からの生乳移入量(道外移出量)は、前年度を上回って推移するものと見込まれる。

5. 特定乳製品需給の動向

【特定乳製品(脱脂粉乳・バター等)需給予測の前提】

- ・脱脂粉乳・バターの生産量は、特定乳製品向処理見込数量に製造係数(直近の動向等を反映)を乗じて算出。
- ・脱脂粉乳・バターの消費量は、平成26年3月までの消費量データに基づき、代替乳製品の動向等を説明変数とした予測モデル(ARIMAモデル)による推計値を基本に算出。
- ・脱脂粉乳・バターの当月消費量(出回り量)は、「前月末在庫」+「生産量」+「輸入売渡し」-「当月末在庫」で算出。
- ・脱脂粉乳・バターの在庫月数は、前年度の一ヶ月平均消費量をもとに算出。

表5-1: 平成25年度 脱脂粉乳の需給(実績)

	生産量		輸入 売渡し B	消費量 (出回り量)		過不足 A+B-C	月末在庫量		
	A	前年比		C	前年比		月数	前年比	
	4月	13.8		103.8%	0.0		12.2	95.9%	1.6
5月	13.1	103.8%	3.0	13.9	111.5%	2.2	53.2	4.6	110.2%
6月	10.8	103.8%	0.2	11.2	97.0%	-0.2	53.0	4.6	112.4%
7月	9.6	91.9%	1.5	13.4	105.7%	-2.2	50.7	4.4	113.0%
8月	9.4	88.6%		11.9	95.9%	-2.4	48.3	4.2	111.9%
9月	7.1	92.5%	0.2	11.5	102.9%	-4.2	44.1	3.8	111.1%
10月	8.2	88.3%		12.1	97.9%	-3.9	40.3	3.5	109.8%
11月	9.0	85.9%	0.0	11.3	107.1%	-2.2	38.0	3.3	103.8%
12月	13.5	91.4%		11.2	101.0%	2.2	40.3	3.5	100.1%
1月	12.2	83.9%		10.5	110.3%	1.7	42.0	3.6	92.7%
2月	9.5	76.0%		10.5	94.7%	-1.0	41.0	3.5	87.8%
3月	12.7	85.2%		13.4	110.8%	-0.7	40.3	3.5	81.4%
第1四半期	37.6	103.8%	3.2	37.3	101.5%	3.5	53.0	4.6	112.4%
第2四半期	26.1	90.9%	1.7	36.7	101.5%	-8.8	44.1	3.8	111.1%
第3四半期	30.7	88.9%	0.0	34.6	101.8%	-3.9	40.3	3.5	100.1%
第4四半期	34.3	82.0%		34.4	105.2%	-0.0	40.3	3.5	81.4%
上期	63.7	98.1%	4.9	74.0	101.5%	-5.3	44.1	3.8	111.1%
下期	65.1	85.1%	0.0	69.0	103.4%	-3.9	40.3	3.5	81.4%
年度計	128.8	91.1%	5.0	143.0	102.4%	-9.2	40.3	3.5	81.4%

表5-2: 平成26年度上期 脱脂粉乳の需給(見通し)

	生産量		輸入 売渡し B	消費量 (出回り量)		過不足 A+B-C	月末在庫量		
	A	前年比		C	前年比		月数	前年比	
	4月	11.9		86.3%	1.2		12.7	103.8%	0.4
5月	11.3	86.7%	2.1	12.2	87.7%	1.3	41.9	3.5	78.9%
6月	9.4	87.0%	2.0	12.3	110.6%	-1.0	41.0	3.4	77.4%
7月	8.8	92.0%	1.3	13.4	100.6%	-3.3	37.6	3.2	74.2%
8月	9.5	100.7%	1.5	12.5	105.6%	-1.5	36.1	3.0	74.7%
9月	6.2	87.1%	0.6	12.4	107.9%	-5.5	30.6	2.6	69.2%
第1四半期	32.6	86.6%	5.4	37.2	99.8%	0.7	41.0	3.4	77.4%
第2四半期	24.5	93.8%	3.4	38.3	104.5%	-10.4	30.6	2.6	69.2%
上期	57.1	89.6%	8.8	75.6	102.1%	-9.7	30.6	2.6	69.2%

表6-1：平成25年度 バターの需給（実績）

（千トン）

	生産量		輸入 売渡し B	消費量 (出回り量) C		過不足 A+B-C	月末在庫量		
	A	前年比		前年比	前年比		月数	前年比	
4月	7.0	104.1%		6.1	95.8%	0.9	24.4	3.9	125.3%
5月	7.0	107.1%		5.5	87.0%	1.5	25.8	4.1	123.7%
6月	5.7	103.3%		5.8	85.1%	-0.1	25.7	4.1	119.7%
7月	5.1	94.4%		5.8	94.0%	-0.7	25.0	4.0	116.6%
8月	5.1	90.5%		5.7	94.8%	-0.6	24.5	3.9	111.0%
9月	3.6	96.2%		5.0	86.3%	-1.5	23.0	3.7	103.4%
10月	3.9	91.0%		5.5	99.4%	-1.6	21.4	3.4	101.0%
11月	4.2	87.1%	0.4	6.6	89.5%	-2.0	19.4	3.1	94.8%
12月	5.5	88.0%	2.4	9.7	124.3%	-1.8	17.6	2.8	92.2%
1月	6.5	85.5%	0.7	5.6	117.4%	1.6	19.1	3.1	87.3%
2月	4.8	76.5%		5.7	95.0%	-0.9	18.2	2.9	82.2%
3月	6.0	80.7%		6.9	112.8%	-0.9	17.3	2.8	73.8%
第1四半期	19.7	104.9%		17.4	89.2%	2.2	25.7	4.1	119.7%
第2四半期	13.8	93.3%		16.5	91.8%	-2.7	23.0	3.7	103.4%
第3四半期	13.6	88.6%	2.8	21.9	105.2%	-5.4	17.6	2.8	92.2%
第4四半期	17.2	81.2%	0.7	18.2	107.8%	-0.2	17.3	2.8	73.8%
上期	33.4	99.8%		33.9	90.5%	-0.5	23.0	3.7	103.4%
下期	30.9	84.3%	3.5	40.0	106.4%	-5.7	17.3	2.8	73.8%
年度計	64.3	91.7%	3.5	73.9	98.4%	-6.2	17.3	2.8	73.8%

表6-2：平成26年度上期 バターの需給（見通し）

（千トン）

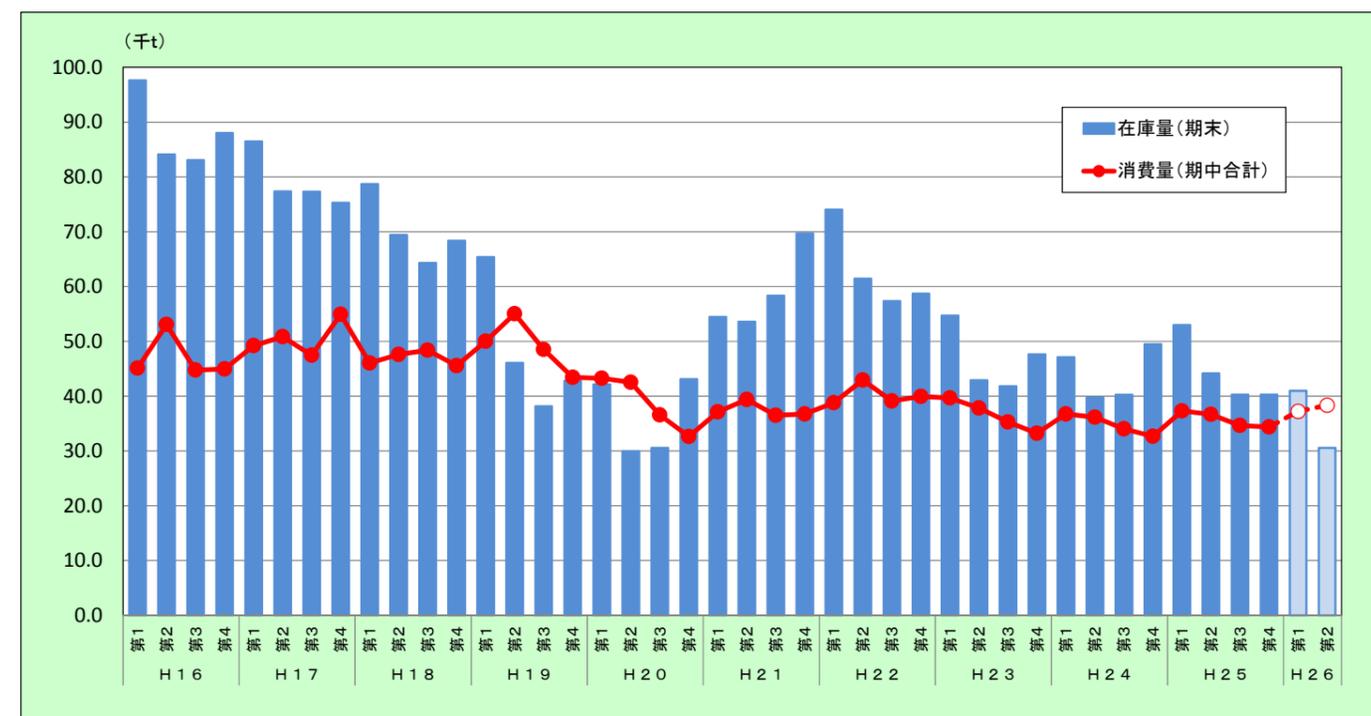
	生産量		輸入 売渡し B	消費量 (出回り量) C		過不足 A+B-C	月末在庫量		
	A	前年比		前年比	前年比		月数	前年比	
4月	6.0	86.3%		6.1	99.7%	-0.0	17.3	2.8	70.9%
5月	6.0	86.7%	0.2	5.3	96.2%	1.0	18.2	3.0	70.7%
6月	5.0	87.0%	1.1	5.5	95.5%	0.5	18.8	3.0	73.0%
7月	4.7	92.0%	0.5	5.8	99.3%	-0.5	18.2	3.0	72.8%
8月	5.1	100.7%	0.9	5.6	98.5%	0.5	18.7	3.0	76.3%
9月	3.1	87.1%	0.2	5.9	117.1%	-2.5	16.1	2.6	70.2%
第1四半期	17.0	86.6%	1.3	16.9	97.2%	1.4	18.8	3.0	73.0%
第2四半期	12.9	93.9%	1.7	17.2	104.4%	-2.6	16.1	2.6	70.2%
上期	30.0	89.6%	3.0	34.1	100.7%	-1.2	16.1	2.6	70.2%

【特定乳製品（脱脂粉乳・バター）需給の見通し】

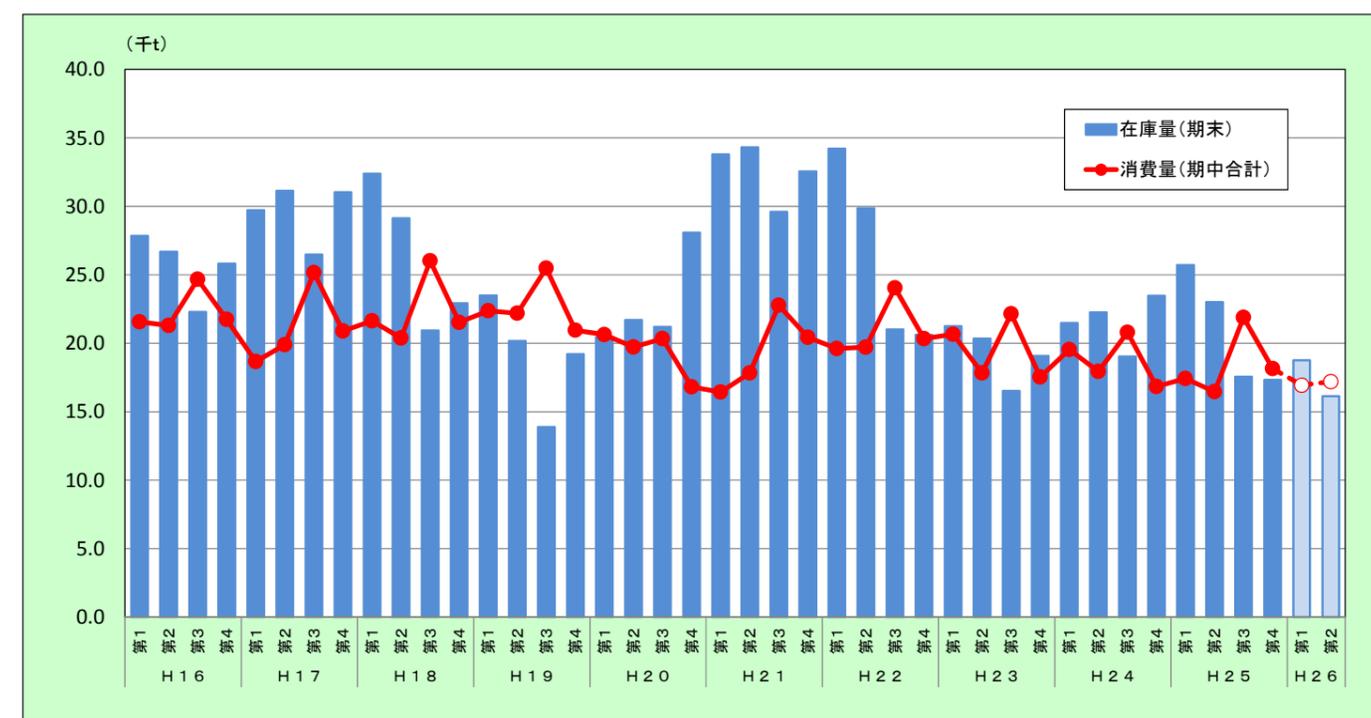
脱脂粉乳については、生産量が前年度を大きく下回わり 57.1 千 t（前年比 89.6%）と見込まれる。上期中に、25年度分カレントアクセス残量並びに26年度分カレントアクセス分輸入数量として 8.8 千 t が売り渡される予定となっているが、26年度上期末における在庫量は 30.6 千 t（前年度上期比▲13.5 千 t）と大きく減少する。

バターについても、上期生産量は 30 千 t（前年比 89.6%）と大きく減少する見込みであり、上期中に、26年度分カレントアクセス分輸入数量として 3 千 t が売り渡される予定となっているが、26年度上期末における在庫量は 16.1 千 t（前年度上期比▲6.9 千 t）と大きく減少する。

グラフ5-1：脱脂粉乳の消費量及び在庫量（四半期毎）



グラフ6-1：バターの消費量及び在庫量（四半期毎）



6. 当面する課題と対応について

(1) 生乳生産拡大への取組み

26年度上期は、牛乳等向処理量の減少よりも生乳供給量が減少するため、生乳需給は逼迫すると見通される。したがって酪農乳業関係者は引き続き生乳生産拡大に努めることが必要である。また、これから夏季を迎えるにあたっては、特に暑熱対策や飼養管理対策の徹底等により、生乳生産量の低下を最小限に留める対策を講じていくことが重要である。

なお、国の経営安定対策による支援のほか、地域の生産者団体等による生産基盤対策の実施に加え、北海道では草地更新やコントラクター事業・TMRセンターの設立による作業の効率化と飼養管理の集中化等が進められており、これらを有効に活用することにより予測を上回る生産の増加も期待される。

(2) 飲用牛乳需要期への取組み

飲用牛乳需要期を迎える7月以降、特に学校給食用牛乳がはじまる9月の最需要期に向け、酪農乳業関係者は飲用牛乳市場の不要な混乱を招かないよう、情報の共有を通じた需給状況の把握とともに、適切かつ計画的な対応について準備していく必要がある。

(3) 乳製品の安定供給への取組み

特定乳製品需給は、生乳供給が減少していることから引き続き在庫量の減少が見込まれている。こうした状況を受けて、国において、乳製品需給の安定のため、26年度上期に予定されている輸入売渡しに加えて、26年度カレントアクセス残量分で脱脂粉乳4千t及び追加分でバター7千tの輸入が決定された。

今後も引き続き、国及び酪農乳業関係者は需給動向を踏まえ適宜的確な情報発信を行うとともに、国内の乳製品需要の減少を招かぬよう安定供給に努めることが重要である。

(4) 的確な需給調整対応の実施

以上のような需給環境の中にあつて、生乳生産量及び牛乳等需要量は気温や天候によっても大きく変動する可能性があることから、急激な需給環境悪化を回避するため、酪農乳業関係者は情報の共有に努め、需要に対する適切かつ弾力的な需給調整が円滑に行われるようきめ細かな対応を行っていくことが必要である。